

令和3年度第1回苫小牧市男女平等参画審議会（概要）

1 日時及び場所 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

2 議事概要

（議題1）令和2年度苫小牧市男女平等参画基本計画（第3次）施策別実施状況について

事務局より、苫小牧市男女平等参画基本計画（第3次）の資料1、資料2の実施状況について説明。

【質問1（事前質問）】

基本目標I男女平等参画の意識改革において、苫小牧市役所内で男性職員の育児休暇はどのくらいの方が過去取得していますか。

【回答】

市男性職員の育児休業取得者の割合につきましては、平成28年度は2人で3.9%、平成29年度は4人で8.3%、平成30年度は1人で2.0%、令和元年度は5人で10.0%となっております。

【質問2（事前質問）】

目標値未達項目について、目標値の見直しをするか、達成するべく新たな施策の検討はしないのでしょうか。結果検証して課題に対するアクションはどのように考えていますか。

例) No.17のSDGs等は市が推進しているという認識は薄い。また、【継続】のみの項目が多いように感じました。

【回答】

現行の苫小牧市男女平等基本計画（第3次）の計画期間が平成30年度から令和9年度までとされておりまして、中間年度となります令和4年度に計画の

検証及び見直しを予定しております。令和3年度には計画の見直しの基礎資料とすることを目的に市民皆さんに意識や考え方の現状を調査する市民意識調査を実施し、目標値の見直しを含めてよりよい計画の策定に向けて取り組んでまいります。

【質問3（事前質問）】

男性の育休支援は国で実施しているが、市としてもお金だけではなく企業を認定（働きやすい職場）する等施策はありますか。

【回答】

国では子育てサポート企業として認定する「くるみん認定」、女性活躍推進に関する状況などが優良な企業に発行される認定マーク「えるぼし」があります。本市におきましては、昨年度までの3年間、男女平等参画社会の実現に向けて、仕事と家庭等が両立できる職場環境づくりやいきいきと働き続けることができる職場の実現に向けて取り組みを実施している市内の企業等を表彰するワーク・ライフ・バランス等企業表彰を行っております。

令和3年度は、表彰制度を見直し、より多くの企業の取組を紹介する事を考えております。

【質問4（事前質問）】

No.77 LGBTに対する配慮について、令和2年度の実施状況で出前授業の回数が少ないのですが、アピールの仕方が（出前授業にそもそもこちらがあるという事を知らない人が多い気がします）悪かったという事もありますか。

そして、小学生にも今後は進めていこうとは思っていますか。

やはり色々分からない内からキチンとした事は伝えた方が良いと思う。

【回答】

多様な性に関する出前授業は学校側からの要望により令和2年度から初めて実施した取組となります。また、令和2年度についてはコロナ禍における学校

休校の影響などにより授業時間数の確保が課題となり開催校数を増やすことが難しい側面がありましたが、令和3年度につきましては中学校長会を通し、各学校へ出前授業に関するPRを行いました。今年度もコロナ禍の影響を受け時間数確保が難しいとのお話はいただいておりますが、引き続き開催いただけるよう努力してまいります。

また、自身が性的少数者と気づく年齢が中学時代に多いという調査結果もあり、特に中学生向けの授業に力を入れております。小学生向け出前授業について現段階では授業の予定はありませんが、性の多様性にも関連する人権尊重や男女平等教育について引き続き推進してまいります。

【質問5】

No. 38 ひとり親家庭の支援について

コロナ禍において事業のタイムリーな実施状況はどのようになっていますか。

【回答】

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、低所得のひとり親世帯へ対象児童1人あたり5万円の給付金を支給しています。また、雇用状況の悪化への対策として、資格取得のために養成機関で修業する際の生活費支援を行う「高等職業訓練促進給付金」の対象資格や対象期間を拡充しています。

【質問6】

No. 40 児童虐待に関する支援

児童相談所の分室と子ども相談センターを開設したことにより、相談件数及び支援状況等の変化はありますか。(相談がかなりしやすくなったと思います)

【回答】

苫小牧市子ども相談センターの開設により、室蘭児童相談所苫小牧分室と子ども相談課での情報共有がスムーズに行われ、業務の迅速化、効率化につなが

っています。

また、令和3年度の児童相談件数は、6月末現在で前年比139.9%となっており、当センターのPR効果が一定程度増加につながっているものと考えています。

【質問7】

市男性職員の育児休暇取得について、割合も大事だが、どの程度の期間取得したのか、その期間についての満足度はどのようなものか。また、育休が目的となってしまうないように男性育休取得者を増やすことは手段であって、目的は男性がそれぞれの家庭に十分な形でコミットすることだと思います。そういった方向へ働きかける男性向けのイベントをもっと開催してほしい。参加の推進が難しいがゆえに費用対効果が低くなってしまうかと思いますが、男性の意識改革分野は重要かと思います。SNSでの啓発については、内容が非常に良いと思いますし、身構えずに楽に見られるので、ぜひ継続していただきたいです。

【回答】

令和2年度の男性市職員の育児休業の取得状況については次のとおりです。

取得者計 6名（1月以下：2名、1月超6月以下：4名）

平均取得日数 55.5日、（取得最長 3月）

満足度の調査等はありませんが、三者面談等において、育休取得を前向きに検討していたり、過去に育休取得した職員が第二子のときにも育休取得を希望するなど、男性育休に対する関心や理解の広がりを感じています。

男性の意識改革に関するイベントにつきましては、いただきました御意見のとおり費用対効果も踏まえながら検討して参りたいと存じます。

【意見1】

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から取り組めなかったものもあるので令和4年度の計画の検証、見直しにあたってその事情を考慮する必要があると思いました。施策別実施状況については、割合が上がったものについて（逆に割合が下がったものについても）要因があるのであれば検証、見直

しにあたり知りたいと思いました。

【意見2】

コロナ禍の難しい状況の中、出来得ることをしっかり実施されていると思います。今後も地道に各事業が実施されることを期待します。

【意見3】

様々な意見に対し、キチンと回答していることがとても良いと思いました。他の委員の質問は自分が気にしていないところであったりしたため、とても勉強になりました。

【回答】

令和2年度、3年度は御意見のとおり新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、数値だけ参考にするのではなく内容も含め、検証・見直しを行う必要があります。また、数値目標の状況も大幅に下がる、または上がるものにつきましては、計画見直しの際に目標値についても実態に即した数値設定を行ってまいります。

(議題2) 苫小牧市男女平等参画基本計画(第3次) 中間見直しアンケートの実施について

事務局より、資料3について説明。

【意見1】

男女平等に対する意識、それに対し市に求められるものは何か、多くの回答が集まることを期待します。

【意見2】

今は様々な事を考える時代となり、知識が無いことには対応できないと思いますので、知識を広めていって誰もが住みやすい街づくりに活かしていただき

たいと思います。

【意見3】

市民、事業者向けアンケートの回収率向上が課題だと思いますが、オンラインでの回答が出来るようにならないでしょうか。

【意見4】

市民意識調査、事業者意識調査について、回収率は対象者の抽出方法、調査内容、調査方法により差が生じると思いますが、若年層向け調査方法である直接配布及び改修に比べ郵送による調査の回収率はかなり開きがあるように思います。

シニア層のスマホ所有率も伸びていることからWEBアンケートの選択肢があっても良いのではないかと感じました。

【意見5】

市民意識調査、事業者意識調査の回収率が低い印象を受けました。意識調査が幅広い市民、事業者の考えを把握する趣旨であれば回収率を上げるための工夫（調査・回答事項、回収方法など）が必要になるかもしれないと思いました。

【回答】

アンケートの発信自体も男女平等参画について考えるきっかけとなることから、知識を広める啓発活動の一助となることを期待しております。また、紙媒体のみではなくウェブ回答も選択できるよう実施に向けて検討してまいりたいと存じます。

(その他御意見・御質問)

【意見1】

取り組みに対する広報を積極的に推進していただきたい。

【回答】

広報、ホームページ、SNSなども活用し、今後とも積極的な周知、広報に取り組んで参ります。

【質問1】

苫小牧市内の小中学校における男女混合名簿の使用についてはどのような状況ですか。

【回答】

本市の小中学校における男女混合名簿の使用状況は、令和3年度時点で、小学校8校、中学校1校です。